

とうじやまとのかみけいずげんぼん
105. 田路大和守系図原本

■ 指定日

昭和53年11月7日

■ 種別

有形文化財 古文書

■ 年代

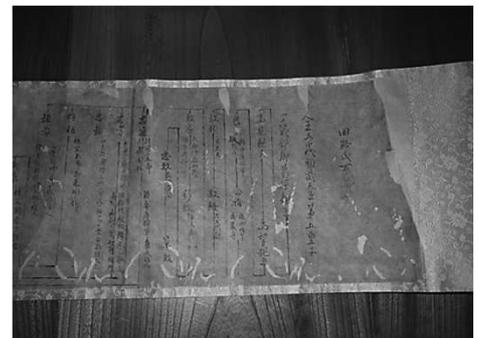
室町時代

■ 所在地

朝来市新井

■ 所有者

祥雲寺



■ 内容

田路城主・田路大和守の系図の原本。他に写本も保存されている。

田路大和守については、その事蹟が明確ではないが、系図によれば桓武平氏の系統にある。高望王6代の孫忠常が千葉上総之介を名乗り、それ以後千葉氏で上総介8代の孫が田路大和守胤直となる。

系図には田路大和守の最期を「但州朝来郡山口郷奥田路村高倉ニ居城ス、コレニヨッテ氏ヲ田路ト改ム。然ルニ太閤秀吉ニ被攻、小勢不能多勢、終ニ落城ス。干時天正七己卯年二月念三日。於城中討死。法号、祥雲寺殿明忌梵光大居士」と記している。